



●計画敷地

○福井県勝山市 弁天川原  
 九頭竜川右岸 全長約 1.5km  
 駅から徒歩 5分

サッカーグラウンド、野球場、ゲートボール場を併設し、県内外から利用者が訪れる

駐車場としても利用され、地域のイベント事には拠点として街の中心的役割を果たす

駅と住宅街や商業施設が集まる中心地をつなぐ

●Plan

地域住民のわの中心地

- ・キーワードは「集まる・つながる・憩う」
- ・ベンチ、トイレ、イベント運営スペース、駐輪スペース、などの機能

防災拠点としての役割

- ・ベンチは非常時にかまどとして利用可能
- ・防災倉庫

気軽に立ち寄り、滞在し、憩いの場となる居場所をつくり、地域のコミュニティの中心として機能する。防災施設として馴染みのある、住民が安心できる場所。

●Diagram

シャボン玉に見立て、川上から川下にふわふわと漂う景色をイメージ

Type ①

要素：トイレ、倉庫、かまどベンチ、シンク、イベントスペース  
 開放的なガラス戸で、外とつながる広いイベントスペースとして利用可能。  
 外のベンチは非常時にはかまどとして利用できる。川原の入口に最も近い位置にあり、川原のウェルカムスペースとして利用客を迎え入れる。

Type ②

要素：トイレ、ベンチ、用具入れ  
 サッカーコートに面する位置にある。ベンチはサッカーを観戦する際にも利用可能。  
 屋根をつけているため、夏の日差しが強い日にも心地よく座ることができる。

Type ③

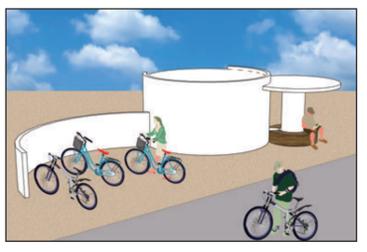
要素：駐輪場、ベンチ、トイレ  
 野球場に面する場所。川原の最も奥に位置しているため、自転車での往来が多い。  
 そのため、駐輪場を設置。野球観戦の際にも利用できるようホームベースを挟んだ両側に設けている。

Type ④

要素：トイレ、机、ベンチ  
 ゲートボール場に面しているため、お年寄りの利用が多い。  
 トイレは広くスペースを取った。ベンチには机をつけ、お年寄り同士や若い人との交流を楽しむ空間をつかった。

Type ⑤

要素：ベンチ、防災倉庫  
 災害時に必要な道具を入れておくことができる防災倉庫。  
 普段はベンチとして利用可能。



# わの休憩所

川尻 紗也

福井県勝山市の豊かな自然に囲まれた弁天川原に小さな休憩所を計画する。弁天川原は桜の名所として知られ、夏祭りや鮎釣りが開催されるなど、地域のコミュニケーションの中心地である。地域住民のコミュニケーションのきっかけとなり、そこを中心にたくさんの輪が広がる、そんな休憩所を計画する。